

高解像度DEMを用いた山頂に基づく世界の山地の地形計測

目的

世界の山地の険しさを表現する地図を作成すること。

方法

- ・半径1 kmの円内の中心点が、その円内で最も標高が高い場合に、その中心点を山頂と定義した(図1)。
- ・分析には、約30 mメッシュのDEM(数値標高データ)であるSRTM1を用いた。
- ・北緯60° ~南緯60° のすべての陸地にある山頂を抽出した。
- ・円内の最高点(中心点)と最低点との標高差を起伏とした。
- ・円内の傾斜を30 mメッシュで算出して、その平均値を平均傾斜とした。

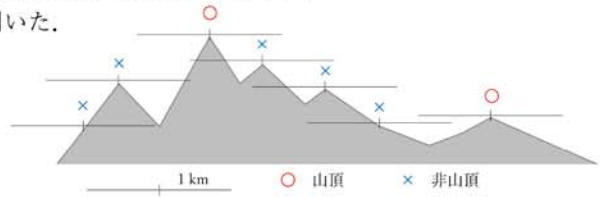


図1 山頂の定義を示す模式図(断面図)

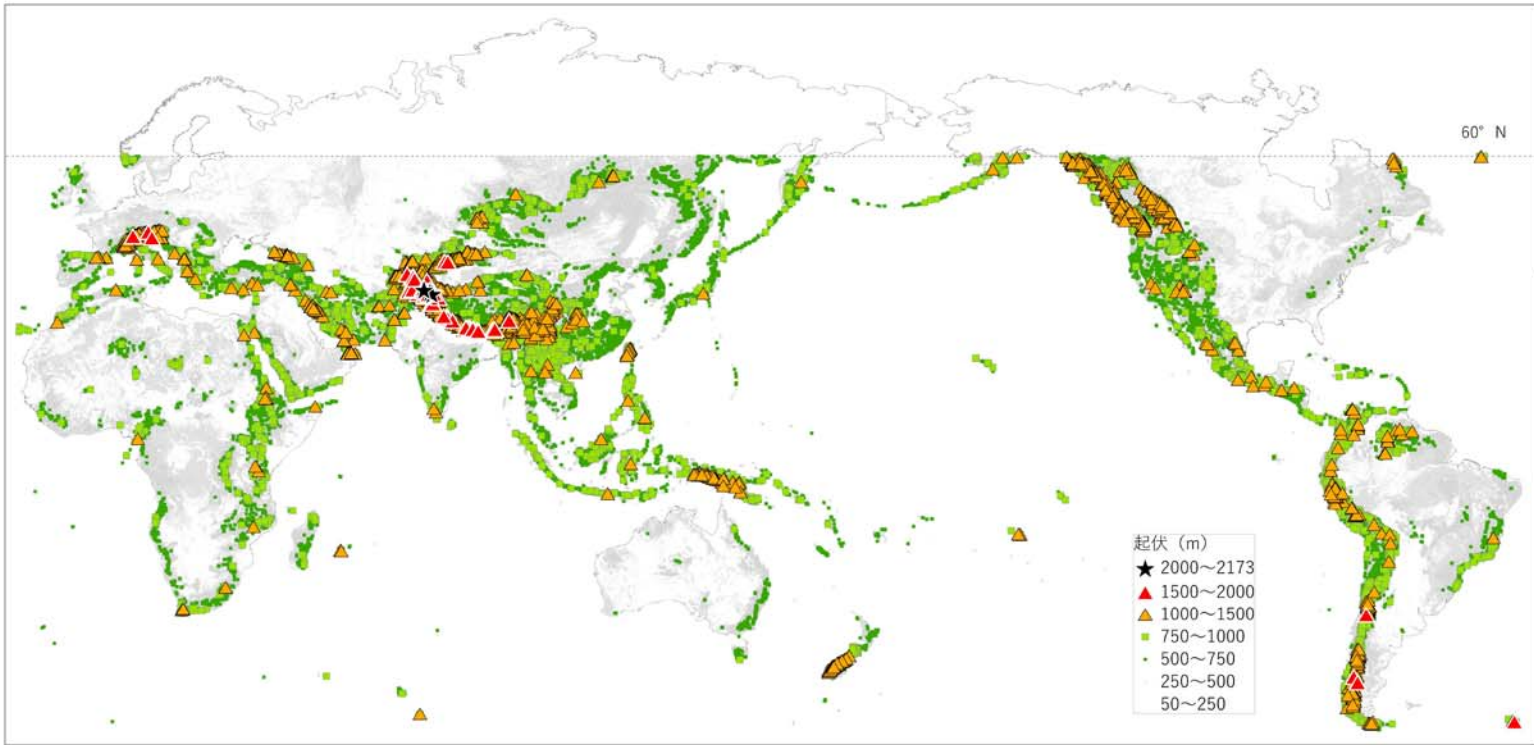


図2 世界の山頂の起伏の分布

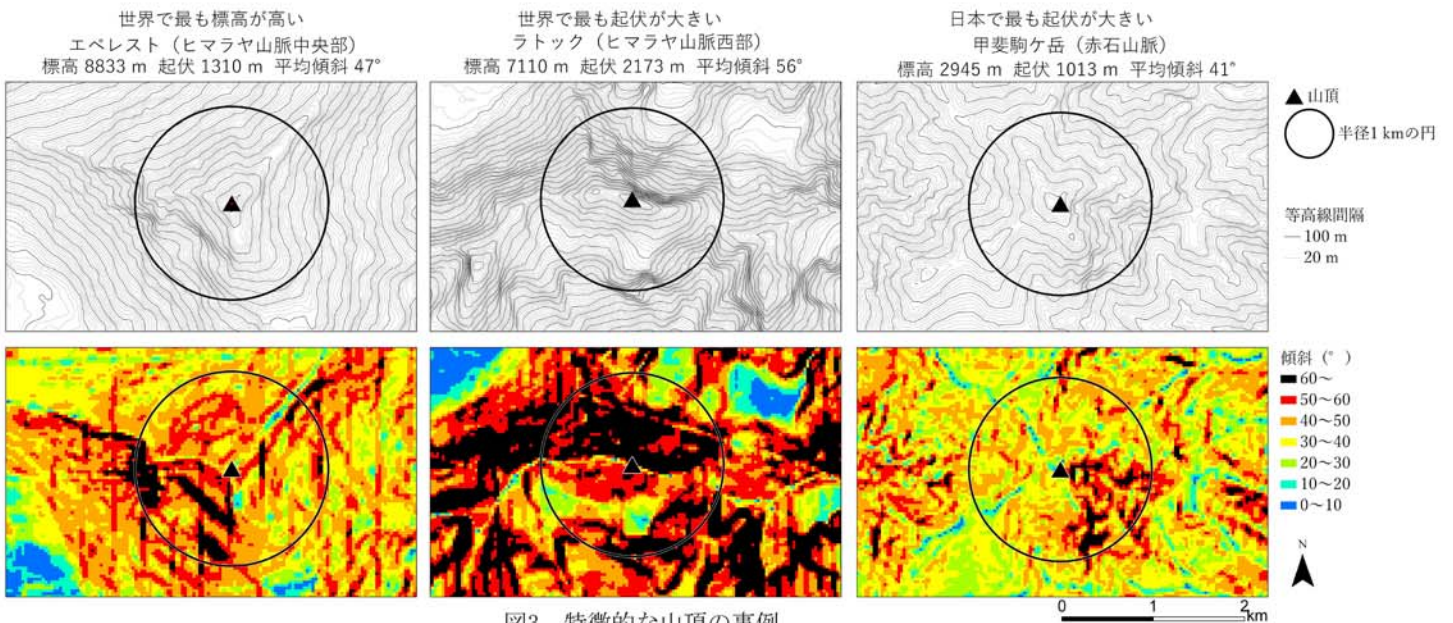


図3 特徴的な山頂の事例